

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：34506

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K13927

研究課題名(和文) 運動部における「女子マネージャー」の抑圧経験に関する社会学的研究

研究課題名(英文) A Sociological Study on the Oppression of "Female Managers" in Male Sports Clubs

研究代表者

関 めぐみ (Seki, Megumi)

甲南大学・文学部・講師

研究者番号：20793045

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,700,000円

研究成果の概要(和文)：倫理審査を経て実施した、6大学アメリカンフットボール部の学生スタッフ67名のフォーカス・グループ・インタビュー(FGI)では、事前に仕事についての「経験記述」を提出してもらった。経験記述とFGIの分析の結果、「マネージャー」「トレーナー」「アナライジング・スタッフ」といったポジションで成り立つ学生スタッフたちの仕事は、選手から「見えない」部分が多くあることが明らかとなった。社会学研究の新しい方法論であるInstitutional Ethnography(IE)についての調査は、関連する資料収集や関係者へのインタビューを通して進めることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

「女子マネージャー」の経験を「学生スタッフ」と呼ばれる立場から捉え直したことで、ジェンダー(女子/男子)×ポジション(マネージャー/トレーナー/アナライジング・スタッフ/チア)の組み合わせでの比較を可能とした。つまり、「女子」であるというジェンダーの問題と同時に「マネージャー」という仕事の特異性を分けて考察できるようになった。それにより、他ポジションと比較した「女子マネージャー」特有の抑圧経験が明らかとなった。また、社会学研究の新しい方法論であるInstitutional Ethnography(IE)については、日本語で紹介している研究がわずかであることから、貴重な資料を集めることができた。

研究成果の概要(英文)：The focus group interviews (FGI) of 67 student staff members of American football teams at five universities, conducted after ethics review in FY2021, asked them to submit "experience descriptions" about their jobs in advance of the interviews. The analysis of the experience descriptions and FGI revealed that the work of the student staff, consisting of positions such as "manager," "trainer," and "analyzing staff," is often "invisible" to the players. The investigation of Institutional Ethnography (IE), a new methodology of sociological research, was able to proceed through the collection of relevant materials and interviews with the people related to the study.

研究分野：社会学

キーワード：女子マネージャー IE 性差別 運動部活動 Dorothy E. Smith 社会学 ジェンダー スポーツ

## 1. 研究開始当初の背景

スポーツ庁(2016)によると、中学生の65%、高校生の42%が運動部に所属するという。マネージャーを置いているほとんどの運動部は男子部、あるいは男子しか入部できない部であり、マネージャーの97%が女子であったという調査があるように、マネージャーの分布には性的な偏りがある(表1)。

表1 マネージャーの分布表

	男子運動部	女子運動部
女子マネージャー	(多い)	(わずか)
男子マネージャー	○(少ない)	×(不在)

スポーツ組織では、未だに性別二元制が強固に維持され「男性中心主義最後の砦」と言われて久しい。性別二元制という男女の差異化は、男性が「活動の主体」かつ「性的欲望の主体」で、女性が「他者の活動を手助けする存在」かつ「性的欲望の対象」という「性支配」をもたらす(江原、2001)。女子マネージャーは、男子選手のために掃除、洗濯、炊事といった「女性的役割」を担ってきたことから、まさしくこの性支配関係を体現していると言われている。

申請者は「スポーツ組織におけるセクハラ問題を当事者の視点から問い直すこと」及び「マネージャー制度を女性の新たな活躍の場として転換させること」を目的に、主に学生運動部女子マネージャーを対象に研究を行ってきた。その中で、男子運動部での参与観察において、男子選手から女子マネージャーに対するセクハラ行為を確認した。しかし、彼女たち自身はその行為をセクハラだとは思っていなかった。セクハラの本質と彼女たちの意識に差が生じているのである。

これまで女子マネージャーをめぐる議論は、性別役割分業やメディアに蔓延するジェンダー論といった「社会の問題」と、本人の意思を尊重すべきという「個人の問題」の間で堂々巡りするばかりであった。特にセクハラは個人の認識を根拠としてきたため、彼女たちが直接経験する世界については不問に付されてきた。しかし、日常生活世界において繰り返される性支配は、それに気づいて対処する気力を奪い、被害として認識することを困難にする。この支配関係を問い直すためには、個人の意識を形作る要因を解明する必要があると考えた。

## 2. 研究の目的

申請者のこれまでの調査において、女子マネージャーたちからはセクハラという枠組みで経験は語られなかった。一方で、その活動内容(例えば、掃除、洗濯等)を通じた男子選手への不満や漠然とした不条理感については饒舌であった。すなわち、彼女たちにとっては、性の抑圧経験よりも活動に基づく抑圧経験の方が深刻だと認識されているのである。

そこで本研究では、女子マネージャーの活動内容に着目し、彼女たちの「語り」の中から、女子マネージャー制度自体が抱える性差別の存在を詳らかにし、さらに彼女たちの意識構造が形作られてきた要因（環境、ステークホルダー、社会制度等）について明らかにすることを目的とする。解析する対象を、個人（ミクロ）、組織（メゾ）、社会・制度（マクロ）の三層構造で考えると、ミクロの視点からマクロの社会的・制度的な要因を探求する。スポーツ環境におけるセクハラ問題を、その背後に潜む要因にまで踏み込んで分析した研究はこれまで見当たらない。

ミクロの視点からマクロの社会関係を探求する方法として Institutional ethnography(IE)を用いる。IEはこれまでの社会学理論と方法論に変わる新しい社会学(の研究手法)とも言われ、1970年代にカナダのDorothy E. Smithによって提唱された。女性解放運動の隆盛とともに発展してきたことから「女性のための社会学」と呼ばれ、近年では「人々のための社会学」へと変容を遂げている。IEに関して日本では未だSmith氏の研究を紹介するにとどまり（上谷，1996；2018；中河，2010など）、IEを用いた社会学的研究は行われていない。したがって、本研究は日本で初めてのIEを用いた研究となる。

### 3. 研究の方法

本研究では、マネージャーの活動を「支える仕事」と位置づけたうえで、マネージャー間で「支える仕事」について語ってもらい、他者と共有した抑圧経験の特徴から、その背後に潜む社会関係を見出した。IEでは自らの経験や感情について語り合うことで問題の所在を探求する方法がある。個人的な抑圧経験と思われてきたことに、より大きな社会関係とのつながりを見出すことで、支配関係を問い直す糸口とするのである。特に、Smith氏は「仕事に関する知識」の語りに着目し、「仕事」という語の意味を時間や努力などを必要とする人々の行いすべてに拡張することで、認識されていない「仕事」の存在から支配関係を探求する方法を提示している（例えば、「家事労働に賃金を」など）。個別的で詳細な仕事の記述（エスノグラフィー）を入り口に、日常生活世界の成り立ちから「社会的なもの」を発見し直した。

#### 海外の研究動向調査と「支える仕事」概念の検討

IEで用いられている「仕事」の概念を整理するため、文献調査を行った。また、日本ではIEを用いた社会学的研究は行われていないため、海外の研究者から情報を得た。

#### アメリカンフットボール部におけるフォーカス・グループ・インタビュー（FGI）

申請者はこれまで、国内2大学及びカナダ1大学のアメリカンフットボール部で参与観察及びインタビューを用い、「女子マネージャー」のエスノグラフィーを描いてきた。マネージャー活動には、「マネージャー」「トレーナー」「アナライジングスタッフ」という3つの役割があり、後者になるほど男子が担うことが明らかになっている。本研究では、倫理審査を経て、6大学アメリカンフットボール部の学生スタッフ67名に協力していただき、「経験記述」を集めたうえで、16回のフォーカス・グループ・インタビュー（FGI）を実施した。zoomによるオンラインインタビューを基本とし、約1時間半ずつ実施した。インタビューの音声データは、テキスト化を行った上で、QDA( Qualitative Data Analysis )ソフトウェアを用いて分析の精度を高めた。

#### 4. 研究成果

##### 経験記述&FGIの分析

6 大学アメリカンフットボール部の学生スタッフ 67 名に協力していただき、「経験記述」を集めたうえで、16 回のフォーカス・グループ・インタビュー（FGI）を実施した結果を分析した（表 2）。学生スタッフの声を「マネージャー」「トレーナー」「アナライジング・スタッフ」「チア」というポジションごとに分析したことで、選手から「見えない仕事」を担う「女子マネージャー」ならではの抑圧経験を明らかにした。

表 2 研究協力者一覧

グループ※1	ニックネーム※2	ポジション※3	性別	学年	
1	A-1	MON	ANALYZING STAFF	女	2
2	A-1	ボン	ANALYZING STAFF	女	1
3	A-1	ブーさん	ANALYZING STAFF	女	1
4	A-2	さくさく	MANAGER	女	3
5	A-2	さき	MANAGER	女	3
6	A-2	チーズ	MANAGER	女	3
7	A-3	えな	TRAINER	女	3
8	A-3	なみ※4	TRAINER	女	3
9	A-3	なな	TRAINER	女	3
10	A-3	よし※5	TRAINER	女	3
11	B-1	きのびお	TRAINER	女	3
12	B-1	もえちゃん	TRAINER	女	3
13	B-1	ゆい	TRAINER	女	2
14	B-1	はる	TRAINER	女	1
15	B-2	ひと	MANAGER	女	3
16	B-2	すい	MANAGER	女	2
17	B-2	あゆみん	MANAGER	女	2
18	B-2	なり	MANAGER	女	1
19	B-2	レイン	MANAGER	女	1
20	B-3	まや	ANALYZING STAFF	女	3
21	B-3	なの	ANALYZING STAFF	女	3
22	B-3	ゆう	ANALYZING STAFF	女	2
23	B-3	こは	ANALYZING STAFF	女	1
24	B-3	コナ	ANALYZING STAFF	女	1
25	B-4	01	ANALYZING STAFF	女	3
26	B-4	とう	ANALYZING STAFF	女	3
27	B-4	ウナ	ANALYZING STAFF	女	2
28	B-4	のん	ANALYZING STAFF	女	1
29	B-4	はまたび	ANALYZING STAFF	女	1
30	B-5	まゆち	TRAINER	女	3
31	B-5	ちい	TRAINER	女	3
32	B-5	まお	TRAINER	女	1
33	B-5	のすけ	TRAINER	女	1
34	C-1	みく	MANAGER/TRAINER	女	3
35	C-1	まき	ANALYZING STAFF	女	3
36	C-1	どんぐり	MANAGER	女	2
37	C-1	おもち	ANALYZING STAFF	女	2
38	C-1	ありさ	TRAINER	女	1
39	C-1	いくら	MANAGER	女	1
40	D-1	ベベ	TRAINER	女	1
41	D-1	はせ	TRAINER	女	1
42	D-1	キウイ	TRAINER	女	1
43	D-1	あちゃん	TRAINER	女	1
44	D-2	リンゴ	TRAINER	女	3
45	D-2	みかん	TRAINER	女	3
46	D-2	ぶどう	TRAINER	女	3
47	D-2	ふさ	ANALYZING STAFF	男	3
48	D-3	あーや	MANAGER	女	3
49	D-3	ほねちゃん	MANAGER	女	2
50	D-3	りん	MANAGER	女	1
51	D-3	たれ	MANAGER	女	1
52	E-1	ちはる	TRAINER	男	3
53	E-1	よっち	TRAINER	男	3
54	E-1	ココア	MANAGER	女	1
55	E-1	ゆづき	MANAGER	女	1
56	E-2	ひろ	MANAGER	女	3
57	E-2	おね	ANALYZING STAFF	男	3
58	E-2	しな	ANALYZING STAFF	男	3
59	E-3	アイス	MANAGER	女	3
60	E-3	たけ	TRAINER	男	2
61	E-3	りほ	MANAGER	女	1
62	E-3	いだ	ANALYZING STAFF	男	1
63	F-1	りんご	CHEER	女	1
64	F-1	なっち	CHEER	女	1
65	F-1	りほ	CHEER	女	1
66	F-1	ちょこ	CHEER	女	1
67	F-1	あーちゃん	CHEER	女	1

※1 A～Fは、大学を表している。

※2 ニックネームは、「経験記述」記載の際に自ら記入してもらったものを使用している。

※3 ポジションは、各大学で使用されている表記を参考に統一している。

※4 「8 なみ」は、「経験記述」のみ参加（インタビュー不参加）。

※5 「10 よし」は、インタビューのみ参加（「経験記述」不参加）。

##### 日米運動部比較研究

2023 年 9 月から 2024 年 3 月まで、ハワイ大学マノア校において在外研究を実施した。その中で、ハワイ大学のアメリカンフットボール部に関するフィールドワークやインタビューを実施し、日米の部活動スタッフの違いを研究した。

##### IE研究の推進

IE を提唱したカナダの研究者 Dorothy E. Smith 氏（1926～2022）と親交の深かった Dr. Yoko Ueda さんとオンラインで意見交換を実施した。また、2024 年 2 月 16 日から 25 日までの 10 日間、カナダのトロント、ピクトリア、バンクーバーをめぐり IE の資料を収集した。トロント大学のアーカイブや関係者の手持ち資料をスキャンし、Smith 氏と関係の深い Ms. Paula Borne や Mr. David Smith さんと対面でインタビューを実施した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 関めぐみ	4. 巻 174
2. 論文標題 大学運動部活動の学生スタッフのためのInstitutional Ethnography (2) グループインタビューからマネージャーの仕事可視化させる	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 甲南大学紀要. 文学編	6. 最初と最後の頁 107 ~ 120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14990/0002000173	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関めぐみ	4. 巻 51
2. 論文標題 女子マネ の理想と現実	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 世界思想	6. 最初と最後の頁 60-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関めぐみ	4. 巻 49
2. 論文標題 大学運動部における学生スタッフとジェンダー問題 トレーナーの経験から考える	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 現代スポーツ評論	6. 最初と最後の頁 89-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関めぐみ	4. 巻 173
2. 論文標題 大学運動部活動の学生スタッフのためのInstitutional Ethnography (1) 経験記述から見える組織の一員としての「女子マネージャー」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 甲南大学紀要. 文学編 = The Journal of Konan University. Faculty of Letters	6. 最初と最後の頁 109 ~ 121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14990/00004444	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関めぐみ	4. 巻 70(3)
2. 論文標題 「女子マネージャー」の社会学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 体育の科学	6. 最初と最後の頁 209-213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件(うち招待講演 0件/うち国際学会 0件)

1. 発表者名 関めぐみ
2. 発表標題 「女子マネージャー」の「見えない仕事」の意味 大学アメリカンフットボール部学生スタッフの語りから
3. 学会等名 スポーツ社会学会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 井谷聡子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 エトセトラブックス	5. 総ページ数 128
3. 書名 エトセトラ VOL.6	

1. 著者名 井谷 恵子、井谷 聡子、ヘレン・ジェファーソン・レンスキー	4. 発行年 2021年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 288
3. 書名 オリンピックという名の虚構	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------